

行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	容器包装リサイクル推進事業費	事業開始年度	平成18年度	作成責任者		
担当部局庁	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部	担当課室	企画課リサイクル推進室	室長 上田 康治		
会計区分	一般会計	上位政策	廃棄物・リサイクル対策の推進			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律第5条、第7条の2、第13条第2項第3号	関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	改正容器包装リサイクル法に基づく容器包装廃棄物の排出抑制及び質の高い分別収集・再商品化を推進する取組は、ある主体の行動のみによっては達成が困難であり、国民、事業者及び行政(国、自治体)との連携と協働による3Rの活動が不可欠である。国が各主体の連携を促進するための施策を実施することにより、容器包装リサイクル制度の円滑な運用と容器包装廃棄物の排出削減及び高度なりサイクルの推進を図るものである。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	プラスチック製容器包装のリサイクルについては、量的な拡大のみならず、より質の高いリサイクルを目指す必要があり、このため、消費者の信頼性を高める取組や、特定事業者の取組を促し、社会システム全体としての高度化を推進する。また、容器包装リサイクル法の適正な運用のため、再商品化義務量算定に必要なデータや、改正容器包装リサイクル法の効果について、分別収集コストの把握等、各種調査を行う。さらに、改正容器包装リサイクル法での基本的方向である、排出抑制(リデュース)及び再使用(リユース)を更に推進するため、国民、事業者及び行政に対する積極的な3R普及啓発活動の推進を行うものである。					
実施状況	プラスチック製容器包装リサイクル高度化推進調査として、容器包装リサイクルのフローの透明化等に関する検討会を開催し、再資源化の流れの透明性の向上等に関する課題及び方策について検討を行った。市町村等における容器包装廃棄物排出実態調査として、容器包装廃棄物排出実態調査及び組成分析調査、市町村等における分別回収の高度化に係る調査及び分別収集・選別保管に係る市町村コスト実態調査、レジ袋の削減に係る全国調査を行った。容器包装に係る3R促進事業として、容器包装廃棄物排出抑制推進員(3R推進マスター)の研修を全国5カ所で開催、富山県と共同でレジ袋削減推進フォーラムを富山市において開催、公募した7団体の容器包装廃棄物の3Rに係る事業に支援、容器包装3R環境大臣賞で全国の9団体を表彰するなどの普及啓発活動を行った。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	125	128	123	73	73
	執行額	107	117	100		
	執行率	86%	91%	81%		
	総事業費(執行ベース)	107	117	100		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	事業実施等の状況把握については、事業者との間で、電話や電子メール等で連絡するとともに定期的に当省担当者との打合せ会議を行い、常に事業の進捗状況や達成状況を確認している。				
	見直しの余地	本事業のうち、排出実態調査や組成分析調査、レジ袋の削減に係る全国調査等の調査については、容器包装リサイクル法の運用状況を継続的に把握する上で不可欠なものであるため、今後も継続して実施するが、調査対象数や調査項目数等については、これまでの調査結果の蓄積を踏まえて内容を見直していくとともに業務の簡素化のため可能な限り事業を統合して執行する。高度化推進調査および普及啓発事業については、今後予定されている容器包装リサイクル法の改正の方向性に合わせ、事業内容を適時見直していく。なお、平成22年度の予算については、調査関係事業で約14百万円、普及啓発事業で約34百万円の縮減を行い、普及啓発事業については前年度と比較して70%以上の縮減となっている。				
予算・監視・所見率	一部改善 (複数年行っている事業であることから、事業内容の統廃合・見直し等を含め精査することにより、効率的な実施内容と予算規模にするべき。)					
補記	○予算繰越(当該年度の前年度からの繰越額) 単位:百万円					
	平成19年度	平成20年度	平成21年度			
	0	0	0			

環境省
100百万円

〔 事業の委託元であり、本事業に係る一切の事務等の全体統括を行う。 〕

【総合評価入札・請負】

A. 容器包装廃棄物に係る3R促進業務
(請負先: 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株))
32百万円

〔 容器包装に係る3R推進事業(3R推進マスター活動促進事業、地域における容器包装廃棄物の3R推進モデル事業、容器包装廃棄物の3R推進事業) 〕

【一般競争入札・請負】

B. 容器包装廃棄物の使用・排出実態調査及び詳細組成調査業務(請負先: (株)循環社会研究所)
16百万円

【総合評価入札・請負】

C. プラスチック製容器包装リサイクル高度化推進調査業務(請負先: (社)環境情報科学センター)
35百万円

【一般競争入札・請負】

D. 容器包装廃棄物の分別収集及び選別保管に係る市町村コストの実態調査業務(請負先: (株)三菱総合研究所)
9百万円

【総合評価入札・請負】

E. リデュースの取組に係る実態調査業務(請負先: (株)富士経済)
5百万円

〔 レジ袋の削減に係る全国調査 〕

【一般競争入札・請負】

F. 廃ペットボトルの輸出等市町村における独自処理に関する実態調査業務(請負先: (株)地域環境システム研究所)
1百万円

【少額随意契約・請負】

G. 容器包装リサイクルのフローの透明化等に関する法制的検討補助業務(請負先: (株)環境情報科学センター)
1百万円

【少額随意契約・請負】

H. 容器包装リサイクル法に基づく市町村ごとの平成20年度分収集量等集計業務(請負先: (株)環境情報科学センター)
1百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。使
 途と費目の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)			E.(株)富士経済		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	容器包装廃棄物に係る3R促進業務	32	雑役務費	リデュースの取組に係る実態調査業務	5
計		32	計		5
B.(株)循環社会研究所			F.(株)地域環境システム研究所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	容器包装廃棄物の使用・排出実態調査及び詳細組成調査業務	16	雑役務費	廃ペットボトルの輸出等市町村における独自処理に関する実態調査業務	1
計		16	計		1
C.(社)環境情報科学センター			G.(株)環境情報科学センター		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	プラスチック製容器包装リサイクル高度化推進調査業務	35	雑役務費	容器包装リサイクルのフローの透明化等に関する法制的検討補助業務	1
計		35	計		1
D.(株)三菱総合研究所			H.(株)環境情報科学センター		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	容器包装廃棄物の分別収集及び選別保管に係る市町村コストの実態調査業務	9	雑役務費	容器包装リサイクル法に基づく市町村ごとの平成20年度分収集量等集計業務	1
計		9	計		1